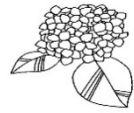


スクールカウンセラー通信

令和3年6月 初夏号



杉並区立神明中学校 校長 山内清一
スクールカウンセラー 石川裕子

定期考査が終わって、親も子も一安心ですね！
お体や心のコンディションはいかがでしょう？

コロナでやりたいことが制限される毎日、お子さんの日常や学校生活などで不安に思われることやご心配なことはありませんか？

毎週木曜日、相談室にスクールカウンセラーが来ています。ご心配事のカウンセリングは、お電話でお申し込みができます。

木曜日以外は留守番電話になっておりますので、留守番電話に、「学年クラスお名前」と「ご希望の日時」を入れてください。確認次第、こちらから折り返しお電話させていただきます。

★生徒さんのご相談もお待ちしております！

例えば、よく眠れない、イライラする、不安になる、やる気が出ない、部活や友人関係で困っている、などなど。

相談したいことがあれば、一人で悩まずに、相談室にお話に来てくださいね。



相談室 スクールカウンセラー在室日（原則 木曜日）

7月 1日、8日、15日、

（8月はお休みです）

9月 2日、9日、16日、30日、 10月7日、14日、21日

11月4日、11日、18日、25日

直通電話03-5336-8658までお申し込みください。

木曜在室時以外は留守番電話になっておりますので、

学年クラスお名前をお願いいたします。

確認次第、折り返させていただきます。

相談室は、2階の職員室の並び3つ目のお部屋です。

我が家の常識は非常識？

SC 徒然

カウンセリングで保護者様のお話をうかがっていると、あれ？と思ったり、えっと驚くときがあります。

病院の小児科で、場面緘黙（家ではしゃべるが、学校などの特定の場面でしゃべらない緘黙）のお子さんの心理検査をしたことがありました。

結果として、お話をするのは苦手だけれど、年齢以上にいろいろなことをよく理解しているお子さんだということがわかりました。

そして、お母様に結果をお伝えしたときに、お家での様子もうかがいました。すると、お家に帰って、その子が「こんな問題があって、こう答えたよ」とお話しすると、お父様が「バカだなあ、これは〇〇だよ」とおっしゃって、家族全員でその子の答えを笑ったというのです。お母様も苦笑されていました。

それは、検査の中の一般常識的知識を問う設問でした。

私はそれをうかがって、困りました。なぜなら、そのお父様のお答えは、全く正解ではなく、どちらかといえば一般常識からズレている回答だったのです。でも、検査の詳しい内容や正解を教えることは、心理検査の性格上規定で禁じられています。

私は仕方なく、「お父様のおっしゃることもあるかもしれませんが、ちょっと違うかもしれませんね」とだけお伝えしました。「お子さんの答えも、それほど大きく違っていないと思いますよ」とも言いそえました。

これは、ほんの一例ですが、えっ！と思うことはままあります。

でも、自分の考え方や習慣と照らし合わせてみて、あれ？私って非常識だったのかしら？と、自分自身を疑ったりもします。

家庭の習慣、常識、学業に対する考え方なども、いろいろありますが、自分で常識、当たり前と思っていることをよくよく考えてみないといけないなあと思いました。

大人になって一人前に仕事ができるようになり、一家をなすと、自分の考えの正しさを疑わなくなってしまうのかもしれませんが。

案外、荒唐無稽に思える子どもの主張のほうが正しかったり、進むべき方向としてはベターだったりすることもあるのかもしれないなあと思うこの頃でした。

硬直した頭を柔らかくすること、柔軟性は大切ですね。

